

## 輸送総合システム入力業務の集約について 提案を受ける！

### 1. 実施内容

輸送総合システムの勤務実績入力業務を勝田統括センターに集約する。

### 2. 関係箇所

土浦統括センター、水戸統括センター、勝田統括センター、いわき統括センター、原ノ町統括センター、水郡線統括センター

### 3. 箇所体制

		現行				改正				記 事		
		変形等	交代	乗務員		計	変形等	交代	乗務員		計	
				日勤	泊				日勤			泊
土浦統括センター	管理	9	5			14	9	5			14	
	一般	16	10	10	32	68	15	10	9	32	66	
水戸統括センター	管理	10	6			16	10	6			16	
	一般	19	11	7	13	50	17	10	6	13	46	
勝田統括センター	管理	9	5			14	13	3			16	
	一般	14	9	12	38	73	15	9	12	36	72	
いわき統括センター	管理	10	4			14	14	2			16	
	一般	15	5	9	15	44	14	5	10	15	44	

※「現行」は2025年3月ダイヤ改正前の体制を計上している。

※「改正」は「2025年3月ダイヤ改正について」及び「輸送総合システム入力業務の集約について」の変更を反映している。

※業務の繋閉等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

### 4. 実施時期

2025年4月1日(火)

### 5. 主な労使議論

組合:今施策の目的を明らかにすること。

会社:これまで以上に技術継承及び効率的な業務執行体制の構築を図るためである。

組合:輸送総合システム入力業務を勝田統括センターに集約する理由を明らかにすること。

会社:在籍する社員が多く、その分件数も多い。行路作成等これまでのノウハウを所持していることや執務スペースの観点から勝田統括センターに集約することとした。

組合:勝田統括センターに集約する業務及び各統括センターで継続する業務を明らかにすること。

会社:乗務員におかれる変行路実績や列車遅延の超勤入力など作業申告書をもとに入力業務を勝田統括センターに集約する。それ以外の給与・厚生・事務関係等は各統括センターで今後も業務を行う。

組合:作業申告書を勝田統括センターに集約する方法を明らかにすること。

会社:複合機でPDF化し、勝田統括センターに集約する。他支社でも輸送総合システム入力を集約しているため、参考にする考えである。

組合:輸送総合システムの操作は勝田統括センター以外でも継続して実施できるのか示すこと。

会社:各箇所に設置されている Joi-net 端末でも入力できる。勤務操配を各箇所で行うため、輸送総合システムは今後も扱えることとなる。

組合:箇所体制について、変更点を示すこと。

会社:土浦△1、水戸△2、勝田+1、いわき△1となる。原ノ町と水郡線は行路数が少なく、入力業務も少ないため、体制は変更しない。業務量の精査やDXを活用し、適正な箇所体制とした。

組合:輸送総合システムの入力を出来る社員数を示すこと。

会社:各箇所1~2名である。入力業務は特殊性があるため、今施策を通じて技術継承を行う考えである。

JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！